



Yokohama Yomiuri ヨコハマよみうり

■発行／横浜読売会
 ■発行日／毎月5日
 ■発行部数／40万部
 ■発行エリア／横浜市内全域
 ■制作／ヨコハマよみうり編集部
 〒231-0023
 横浜市中区山下町51-1
 読売横浜ビル8F
<http://yokohama-yomiuri.co.jp>

音楽 ファミリー
 演劇・舞台 落語

チケットのお求めは7面へ
 限定特価、先行発売、お見逃しなく！

まるでハワイの太陽のよう…とにかく明るくてパワフルなキャシー中島さん。
 5月に横浜で開催される「キルト時間フェスティバル2019」では毎日会場で
 皆さまをお出迎え。キャシーさんに元気をわけてもらいましょう！

🌸 ハワイ生まれ、生粋のハマっ子

生まれはハワイですが、3歳から横浜育ち。ハワイの記憶は全然なくて。本牧のベースで5歳まで、あとは石川町とか野毛で育ったので生粋のハマっ子さんですね。23年間、横浜にいました。だから私のルーツはやはり横浜。大切に思っています。

先日、「覚えているかな？石川町で隣に住んでいたんだけど」って女性に声をかけられて。「近所の小さなシャツ工房から生地をもらって、何か縫ったりしてたよね」って言われて「だから今キルトに繋がっているのね」なんて話をしました。母は昔から洋裁が好きで、独学で洋服を作っていました。私は小さい時から体が大きく、かわいい服はサイズが合いませんでした。だからいつも母が服を作ってくれたのです。“手から生み出す”ということとその頃から自然と意識したのだと思います。

本格的に針を持ったのは小学4年生の時。スウェーデン刺しゅうの手提げを母にプレゼントしました。そこから針を持つ楽しみを覚えて、手芸クラブに入り、クロスステッチやパッチワークの作品を作っていました。

🌸 おませな15歳、モデルになる

私はあの頃で言う「不良」、今で言う「ファッションリーダー」でした。当時の横浜はカッコよかったし、一番輝いていた時代だと思います。音楽、ファッション、踊り。ベースで米軍の人たちが持っていたレコードの曲に合わせて踊るステップを見ては真似て、一緒に来た奥さんや彼女のファッションを見て「あ、ミニスカートだ」とか、「髪の毛はストレートでロングだ」とか、その恰好を真似しました。それで東京に行くと「何？カッコいい」「その踊り、すごい」とか。当時は横浜から新しい文化を発信していたんです。15歳くらいからその中にいたんですけれども、

その仲間内から世界的なファッションモデル(山口小夜子さん)や有名なロックバンドが輩出されました。その素晴らしさと言ったら！語り継がないといけないと思いますよ。

その「不良」と呼ばれていた時にスカウトされて、モデルになり芸能界に入りました。15歳で一番年少のファッションリーダーだったの(笑)。

🌸 空き時間に「キルト」

20歳の頃からパッチワークキルトを始め、タレントをしながら、ちょっとした時間を見つけては作るという感じでした。

26歳で結婚し、仕事を辞めて御殿場で暮らし始めました。私は子どもの頃から、ネオンで夜も明るいところで暮らしていたので、御殿場に移った時には寂しくて。でも地に足がついた生活をするためには誘惑がないところで暮らしたいと思ったので、ドーンと構えて、肝っ玉母さんになりました(笑)。

とにかく手で何かを生み出すことが生きがいで、子どものため、夫のためにとキルトを作りました。子どもが幼稚園に行くようになると、幼稚園のお母さんたちに教えるようになりました。御殿場での生活がキルトの生活になり、仕事になったという感じです。でも人に教えるようになって「作らなきゃいけない」という強迫観念に駆られて。そんな時にハワイに行って、2色使いの楽な感じのキルトを見て「これは何だろう」と、独学でハワイアンキルトをやるようになったんです。ハワイアンキルトに出合ったのは30歳になってからでした。

🌸 自分の時間をパッチワークする

デザインは100%自分でしています。私の頭の中にあるので誰にも渡せないんです。息子の洋輔もキルトをやっているのですが、私とは感性が違います。

コツコツと作るハワイアンキルトは続け



タレント
キャシー中島さん
 kathy nakajima

1952年ハワイ・マウイ島出身、横浜育ち。1969年モデルとして芸能界デビュー、その後テレビタレントとして数々の番組で活躍する。俳優の勝野洋氏と結婚後は御殿場に移住。子育て中にパッチワーク教室を開始。芸能活動を再開しながらパッチワークスクールの主宰、キルトスタジオの経営をする。その後生活の拠点を東京に移し、全国に6店舗のキルトスタジオを開く。アメリカンパッチワーク、ステンドグラスキルト、アップリケキルト、ハワイアンキルト等すべての手法のキルト製作及びデザインを手掛ける。

ていくと思うのですが、私の心の中に残る67年間分の風景や想いを布に表現できたらいいなと思っているんです。年頭にゴーギャンの絵をキルトで表現したんですね。そんな風に心の中にあるものを表現して作っていききたい。「先生、転んでもいいけど、手だけは怪我しないでください」ってみんなが言うの(笑)。どこまで針を持てるかわからないけれど、車いすに乗ろうが何に乗ろうが、手さえあれば皆さんが喜ぶものを生み出せるのかなあ、と思っています。

これからキルトを始めたいと思っている方、やりたいと思った時がやり時です。下手で構わないんです。仕上げるのが一番大事なので、始めたものを「あ、やっぱりだめ」と置いてしまわずに、ぜひ最後まで、どんな形でも仕上げましょう。最初から上手

な人なんて誰もいません。休んでもOK。キルトはそういうものです。自分の時間をパッチワークしていきましょう。

キルト時間フェスティバル2019 in パシフィコ横浜

5/30(木)～6/1(土) 10時～17時
 当日券1,800円 ※中学生以下無料

門外不出のAQS(アメリカンキルトソサエティ)のキルトが初めて横浜にやってきます。しかもここでしか公開されません。初めて見た時、息ができなくなるくらい感動しました。ぜひ見てほしい。また、私の新作キルトや横浜の思い出を表現した作品「ヨコハマストリート」を出展します。合言葉は「アロハ!」、会場で声をかけてください。



息子の手芸家 洋輔さんと

2019年も横浜にキルトの祭典がやって来ます!

Quilt Time Festival

キルト時間フェスティバル2019

2019. 5/30(木)～6/1(土)
 in パシフィコ横浜

キルト時間フェスティバルを応援します! 横浜でお会いしましょう。

キルト時間フェスティバルスペシャルサポーター
 キャシー中島さん

Modern Quilt Studio(Weeks Ringle & Bill Kerr), USA

YC (読売新聞販売店) にて前売り券好評発売中!!

前売り価格 **1,600円** (税込) (当日券 1,800円 税込)

※中学生以下は入場無料 ※障がい者手帳をご持参の方(付添1名含む)は無料

前売り特典 ヨコハマ グランド インターコンチネンタル ホテル ランチ10%割引

前売り券の半券で開催期間中、ヨコハマ グランド インターコンチネンタル ホテルのレストランランチを10%割引にてご利用いただけます。 ※当日の混雑状況によりご案内できない場合がございます。予めご了承ください。

●対象レストラン等、本割引特典についての詳細はお問い合わせください。
 ヨコハマ グランド インターコンチネンタル ホテル レストラン予約 Tel.045-223-2267(9:00～20:00)

《最新のイベント情報は公式HPで!》

キルト時間フェスティバル 検索 <https://fes.quilt-jikan.jp/>

■主催 株式会社 読売情報開発
 ■後援 外務省、神奈川県、横浜市、アメリカ大使館、読売新聞社、報知新聞社、神奈川新聞社、tvk(テレビ神奈川)、ラジオ日本、株式会社読売旅行、読売・日本テレビ文化センター、パシフィコ横浜、ヨコハマ グランド インターコンチネンタル ホテル
 ■特別協賛 サントリー酒類株式会社、三井住友海上火災保険株式会社、ライオン株式会社
 ■協賛 株式会社SGC、金亀糸業株式会社、クローバー株式会社、蛇の目ミシン工業株式会社、東急グループ、株式会社ルシアン、読売ハートサービス
 ■協力 株式会社アークフィリア、日本郵便、箱根小涌園 天窓